

医療的ケア児等支援研修ガイド2026

<研修の種別とねらい>

【基礎】

医療的ケア児支援の全体像・安全管理・制度理解を共有し、職種横断の共通言語を形成

【専門】

保育・教育・福祉・訪問看護・災害時等の現場に必要な、具体的な医療的ケアの実技習得・実践力の強化

【連携・コーディネート】

地域の総合調整・連携の中核を担う人材(☆医療的ケア児等コーディネーター)の育成

【当事者家族・ピア】

家族のセルフケア力・心理的支えの醸成、相談・交流の場の整備

<はじめに>

令和3年に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され、保育所や学校においても医療的ケア児の受入れが進められてきました。一方で「医療的ケア児」という言葉やその支援のあり方について、十分に理解が浸透しているとは言えない状況も見受けられます。

本ガイドは、医療的ケア児に関する共通理解を深め、支援に関わる関係者が安心して支援に取り組むことができ、またご家族が地域で安心して過ごすことができるよう、栃木県が実施している研修内容を整理し、まとめたものです。

本冊子が、医療的ケア児支援について幅広く理解するための一助となるとともに、医療的ケアを必要とするこどもとそのご家族が地域の中で安心して、笑顔で生活できる環境づくりにつながることを願っています。



栃木県医療的ケア児支援庁内WGチーム

(栃木県保健福祉部・栃木県教育委員会)



<研修ガイドの活用について>

医療的ケア児の支援は、保健・医療・福祉・教育など幅広い分野が関わるため、特定の部署や職種のみで完結するものではありません。退院時の支援、就園・就学、災害時の対応など、子どもたちの成長段階に応じて様々な課題が生じます。関係機関や専門職が相互に連携し、切れ目のない支援を行うための研修受講を計画する際の参考に、本ガイドをご活用ください。

1 受講する研修を選ぶ際の参考として活用

各研修の対象者や内容を一覧で整理しており、受講する研修を選ぶ際の参考として活用できます。

2 研修内容を把握するために活用

受講前に研修内容を確認することで、目的に応じた研修を選択する際に役立ちます。

3 職種ごとの役割理解に活用

研修の対象職種や項目を通じて、他職種の役割や視点の理解を深めることができます。

4 多職種連携の推進に活用

分野横断の研修情報を共有することで、多職種間の連携強化を図るためのツールとして活用できます。

☆医療的ケア児等コーディネーターとは

医療的ケア児等コーディネーターは、医療的ケアを必要とする子どもとその家族に対し、保健・医療・福祉・教育など多分野にわたる支援を調整し、地域における支援体制づくりを推進する専門職です。

「医療的ケア児等支援者養成研修」を受講し、市町の推薦を受けた後、「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を修了することで、医療的ケア児等コーディネーターとして活動することができます。

資格取得後は、市町に配置されたコーディネーターを中心に、市町を基盤とした医療的ケア児支援を行います。

主な担い手は、相談支援専門員、保育士、訪問看護師などであり、それぞれの専門性を生かしながら役割を果たしています。

支援者養成研修
(2日間)

コーディネーター養成
研修(6日間)

コーディネーターフォロー
アップ研修(1日間)

<研修のお問合せ先>

栃木県保健福祉部

医療政策課 在宅医療・介護連携担当 028-623-3046

感染症・疾病対策課 難病対策担当 028-623-3086

障害福祉課 企画推進担当 地域生活支援チーム 028-623-3093

(栃木県医療的ケア児等支援センター「くるん」) 028-678-4601

こども政策課 母子保健担当 028-623-3064

障害者総合相談所 知的障害支援課 028-611-1208

栃木県教育委員会

特別支援教育課 企画推進担当 028-623-3381

研修内容等の詳細については担当課にお問合せください。